

知ろう！考えよう！公共施設のより良いかたち in まちカフェ！

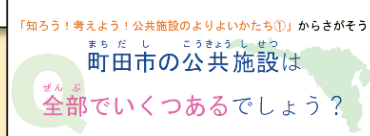
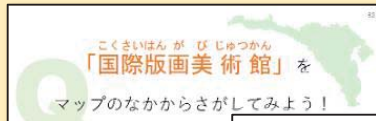
～開催報告～

2018年12月2日（日）第12回市民協働フェスティバル「まちカフェ！」で、再編に向けた取り組み“みんなで考える場”を開催しました。親子で楽しみながら、町田市の公共施設再編の取り組みについて知っていただく機会となりました。当日は、272名のお客様にご来場いただき、終始大盛況でした。



① 巨大ジェンガクイズ

ブースの入り口に巨大なジェンガを設置しました。ジェンガには、町田市の公共施設に関するクイズが印刷されており、パネル展示の中から答えを探し出す仕組みになっています。高く積み上げると2メートルを超え、会場の中でもひととき目立つ存在になりました。



▲全部で36種類のクイズがあります。

どのクイズになるかはジェンガを引いてからのお楽しみ♪



▲おそろおそろ抜いていきます

▲高く積みあがりました！



① 巨大ジェンガクイズ

▲ブース全体の様子

④ アンケート

② 缶バッジづくり

その場で撮った自分の写真や公共施設再編キャラクターのイラストを使って、缶バッジを製作しました。世界にひとつだけのオリジナルの缶バッジが作れることもあって大人気。開始5時間で、合計150個を配布しました。



◀写真ボードの穴から顔を出してパシャリ



▲顔写真を機械にはめて缶バッジ製作



「バッグやお洋服につけてくれたよ」

▲缶バッジ完成

③ パネル展示

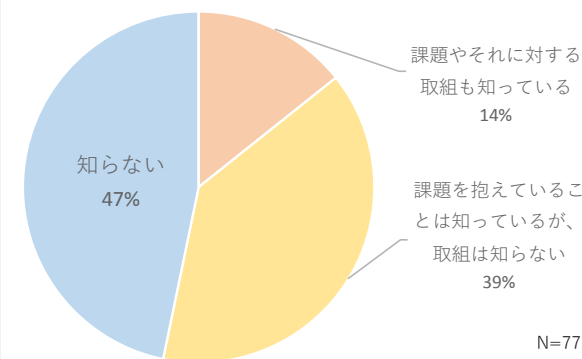
町田市の公共施設の現状や課題、公共施設・公共空間のより良いかたちを実現するためのイメージについて解説したパネルを展示し、アンケートやクイズと連動しながらご覧いただきました。



④ アンケート

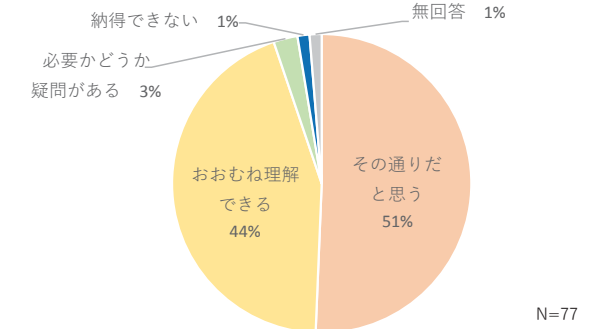
公共施設再編の取り組みについてアンケートを行い、77名の方から貴重なご意見をいただきました。みなさんの回答をご紹介します。（アンケートから抜粋）

【問】町田市が所有する公共施設の多くが老朽化してきているという課題に対し、将来を見据えて公共施設を再編していく取組があることを、あなたは知っていましたか。



→ 半分以上の方が町田市の公共施設の課題について認識している一方、再編の取組について知っている方の割合は14%にとどまっています。

【問】「今後も必要な公共サービスを維持していくためには、1つの建物に複数の機能を組み合わせることにより、1か所で多くの目的が達成できるようにしたり、多世代で利用できるサービスや活動の拠点とする必要がある。」ことについて、あなたはどのように感じますか？



→ 必要な公共サービスの維持のために1つの施設を多機能、多目的、多世代で利用できる拠点にしていく必要性について、9割を超える方にご理解いただいています。

学校をどんな風に複合化できるかな？

▼みなさんから様々なアイデアをいただきました！



学校と複合化させるなら・・・

習い事・生涯学習

家に帰らずに通って便利

子どもも大人も学んで交流できる場に

高齢者福祉施設

多世代交流で色々なことを教わることができる

カフェ

おもしろそう

人が集まるので子どもを見守れる

